

# なんでもなれるよ！女の子・男の子

分類・小学校 低学年 学級活動

## 1 目標

固定的な性別による役割分担意識にとらわれず、自分の夢に向かって生きている人々のことを知り、伸びやかに、将来の自分の仕事を描くことができるようにする。

一人ひとりの多様な生き方を認め合うことができるようにする。

## 2 題材について

低学年の児童に、「大きくなったらどんな仕事をしたい?」と尋ねても、選択肢の幅がまだ狭い。保護者をはじめとする家族の仕事、保育園や幼稚園の先生のように今までかかわったことのある人の仕事、テレビドラマや漫画を通して知った仕事等から選ぶ場合が多い。そして、これらの仕事はまだ、性別役割分担意識にとらわれているものが多いため、児童が選んでいる仕事にもその影響が大きい。

学年にかかわらず、女子は「ケーキ屋」「花屋」のように、生活観のあるものが多いのに比べ、男子は、スポーツ選手など夢やあこがれに結びつくのが多い。

まだ、ジェンダーに比較的とらわれていないこの時期に、固定的な性別による役割分担意識にとらわれず、様々な職業に就いている人を写真で紹介することにより、児童の選択肢の幅を広げるとともに、「将来はこんな仕事をしてみたい」という労働観も育てていきたい。

## 3 準備物

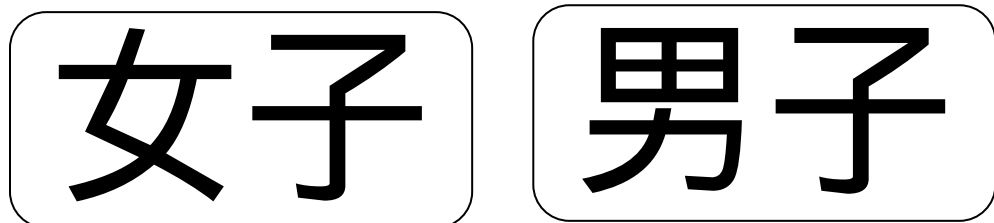
固定的な性別による役割分担意識にとらわれないで仕事を選び活躍している男女の写真

参考資料 自分を生きる 21(大阪府人権教育研究協議会編) 巻頭 グラビア

将来したい仕事を書くカード

「男子」「女子」の掲示用カード

掲示用



「女子」と「男子」の表示の色分けに配慮しましょう!!

#### 4 指導案

時間	学習活動	主な発問と予想される反応	教師の支援
10分	1 大きくなったらしたい仕事を紹介する。	<p>大きくなったらどんな仕事をしてみたいですか。理由は？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師。お母さんがそうだから。</li> <li>・サッカー選手。サッカーが好きだから。</li> </ul>	<p>・数人の児童が、「なりたい仕事やその理由」を発表することにより、どの児童も自分になりたい仕事をカードに書くことができるようにする。時間のかかりそうな児童は学習の途中で黒板にはることを認める。</p>
	しごとについて考えよう。	<p>大きくなったらしたい仕事を書いて、男女別に黒板にはりましょう。</p>	
10分	2 みんなが選んだ仕事をみて気が付いたことを話し合う。	<p>黒板にはった仕事を見て気が付いたことを言いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男子はスポーツ系の仕事が多い。</li> <li>・女子はケーキ屋さんや花屋さんなどのかわいい感じの仕事が多い。</li> <li>・花屋さんはどっちにもある。</li> </ul> <p>もしも、「男子」と「女子」が逆になったらどうですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・えーえ！何か変。</li> <li>・男の花屋さん知ってるよ。</li> <li>・白バイにのった女の人を見た。「男子」と「女子」が逆になってもおかしくないですか。</li> <li>・おかしくない。</li> <li>・そういう人もいてもいい。</li> </ul> <p>時間があれば、一つずつ確認していく。</p>	<p>・一人ひとりが考えることが大切なので、1～2分程度、黒板を見て考える時間を確保する。</p> <p>・児童の意識を集中させるために、目を閉じさせてから、男女の掲示用カードを入れ替える。</p> <p>・児童の中から「逆にしてもおかしくない」という気付きの発言が出るまで、自由に意見を交換する。</p>
10分	3 様々な男女の仕事を知る。	<p>「男子」と「女子」に関係なくいろいろな仕事を頑張っている人を紹介します。</p> <p>思ったことを言いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の先生がミシンを教えているのは知りませんでした。</li> <li>・女の大工さんもカッコいい。</li> <li>・刃物職人をしている「女の人」がいることを初めて知りました。</li> </ul>	
15分	4 まとめる。	<p>今日の学習で分かったことや、思ったことをワークシートに書いて、発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんな仕事があることが分かりました。</li> <li>・私も救急隊員になりたいです。</li> </ul>	<p>・仕事に対する意識を変えるきっかけとなる大切な学習なので、児童も自分のこととしてとらえられるように、できるだけ多くの児童に、発表させたい。</p>
	「男の子」「女の子」にかんけいなく、いろんなしごとをえらぶことができる。		

#### 5 資料



(2)子どもの将来就きたい仕事(参考)

仕事	女子	男子
ケーキ屋(パティシエ)	6人	
デザイナー	1人	
考古学者	1人	
和菓子職人	1人	
看護師	1人	
花屋	6人	1人
大工		4人
サッカー選手		4人
野球選手		2人
柔道選手		1人
コック		1人
寿司屋		1人
ハンバーガー屋		1人
虫についての博士		2人
先生		1人
合計	16人	18人


(3) 板書

「しごと」についてかんがえよう!

女子

男子

いろいろな仕事をして  
いる男女の写真



なりたい仕事

なりたい仕事

「男子」「女子」にかんげいなく、いろんな仕事がえらべるよ。

(4)学習の風景

